

# 学園便り

Vol.102

新入生特集号

入学おめでとう!!  
いざ大学デビュー

## 新入生特集

P2~P5

キャンパス探訪②

—もの創り工房—

P17

# TOPIC

P18~P19

新任教員自己紹介  
P14~P16

# 大学祭特集

P6~P13

# 新入生特集

## クラス担任からのメッセージ

### 電気電子工学科



新入生諸君、ご入学おめでとう！

将来は就職することと思うが、これからの4年先の経済状態は不透明である。と言うことは、就職状況が今年が良いからと言って、4年先は保証されていない。これから4年後、あるいは大学院へ進学して6年後に希望の就職先に行くには何をすべきか？成績は良い方が良く、更に「人間力」を高めることが望まれる。「課題を発掘し、問題を解決する能力を身につけること。社会が求める人材になること」である。即ち、社会人としての「人間力」：読む、書く、話す、聴く、考える、疑問を持つ、調べる、発表する(発言する)などの各スキル(能力)に磨きをかけることである。磨きをかけるには多くの時間を要するので、今から始めることを勧めます。活字を読みましょう。文章を書くようにしましょう。今日から自分を磨く努力を始めよう。

参考文献：「特集 大学の失墜」、中央公論2月号、2006。



助教授 渡 寧英

本学へのご入学おめでとうございます。これからの勉強に夢と希望を膨らませていることと思います。大学での勉強と高校までの勉強との一番の違いは、大学で教えられることだけではなく、社会の動向に注意をし、将来自分は何をしたいのかを考えながら、自ら積極的に問題を掘り下げ、勉強していくことではないかと思えます。電気電子工学科の1年次の科目に電気電子工学総論がありますが、興味を持った研究テーマについては積極的に先生に話を聞きに行くといいと思います。私の部屋にも多くの学生が話を聞きに来てくれることを期待しています。また、最近ではなるべく楽しもうとする学生が多くなった気がしますが、努力したことは絶対無駄にはならないので、少しずつ地道に努力を続けてください。最後に、「継続は力なり」という言葉を贈りたいと思います。

### 化学システム工学科



助教授 星 雅之

Freshmen at Kitami Institute of Technology

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。いよいよ大学生ですね。きっとこれからの大学生活に大きな期待と少なからずの不安を抱いて、この大学に足を踏み入れたことと思います。私も昔は、皆さんと同じようにいろいろな期待とさまざまな不安の入り混じった新入生でした。皆さんのほとんどは初めて親元を離れ、一人で生活しなければなりません。このことを楽しみにしていた人もいれば、たいへん不安に思っている人もいるはずですが、大学生活をポジティブに考えている人は、自分の道をどんどん進んでください。しかし、不安を感じている人は、まず友達をつくりましょう。クラスの人、下宿やアパートの人、サークルの人など、身近にいる同輩や先輩とコミュニケーションすれば、多くの情報(良いものと思いのものがある)を得ることができるはずですが、そうすれば、あなたの大学生活はきっと明るく充実したものになることでしょう。これは、30年以上前に新入生だった私の経験ですが、今も変わらないと思います。最後に、北見は勉強するには適した街ですし、その周囲には世界遺産の知床をはじめ、阿寒や大雪などの大自然がいっぱいです。楽しい学生生活を過ごしてください。

### 土木開発工学科



助教授 八久保晶弘

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本学に入学してどんな学生生活を送ろうかと、わくわくしている方もいれば、今の自分にピンと来ない気持ちを抱えつつ悩んでいる方もいることでしょう。高校までの生活からいろいろなものが激変するちょうど変わり目の時期ですから、これは当然です。これからはあらゆる面で「自立」することが求められるようになります。その変化は時には劇的に訪れるため、戸惑うことも多々あります。そんなときは一人で悩まず、相談相手を見つけてください。大学時代にできる友人関係は、自分の経験からいっても非常に大切です。何らかの部活・サークルに所属することを強くお勧めします。皆さんが充実した学生生活を送られるよう、心より願っています。



助教授 宮森 保紀

土木開発工学科へようこそ。土木工学は人々の生活を根底で支える幅広い学問です。ですから、土木工学を修めるためには、視野の広い思考と経験が必要です。皆さんもぜひ、幅広い豊かな学生生活を送ってください。

### 機械システム工学科



教授 羽二生博之

目的意識を持って沢山の思い出を作ってください

入学おめでとうございます。高校時代までは先生から日頃細かな指示があったと思いますが、大学では自分達の事は自分達で決めて行動することが基本であり、何か指示が来るまで待っていたのでは、良い学生生活を送ることができませんし、社会人になるための素養は身に付きません。大学では常に、自分は将来どんな人間になるべきかを考えて、色々な事にチャレンジして行くことが大切です。すぐに将来設計ができたり、素晴らしい学生生活を送れるわけではなく、時には他人と意見の対立もしながら何度も軌道修正が必要ですが、そのような試行錯誤を繰り返して、社会人になるための素養が身に付いてゆくものです。社会ではリーダーシップを発揮しながら円滑な人間関係を維持することが最も重要ですから、勉強も大切ですが、部活動などに参加して自分を磨いてください。卒業時に本当に良かったと思えるような学生生活を送ってくださることを願っております。



助教授 三戸 陽一

入学おめでとうございます。大学での4年間はとても大切な時期です。大学の授業の内容でも、それ以外のことで何でもいいので、時間を大切に、自分のレベルアップを心掛けてください。これからは、目標を決めるのも、その目標に到達するための手段を見つけるのも、全て自分の責任で自分の仕事です。何度失敗してもいいから、いろいろなことにチャレンジして、それを乗り越えることのできる精神力と技術(能力)を身に付けてください。専門外のことを勉強、経験したり、スポーツや趣味などで新たなことにトライできる絶好の時期でもあるので、是非そういった機会も大切にしてください。大学でも成績はつきませんが、複雑で多様な選択肢がある中で、自分に対して正しい採点ができるのは本人だけです。自分が納得できる楽しい大学生活を送ることが一番大切だと思います。頑張ってください。

### 情報システム工学科



助教授 渡辺 文彦

入学おめでとうございます。本学は工学専科大学なので、入学後はいろいろな場面で数学が応用されていることを目撃する機会が多いと思いますので、数学の学習は引き続き重要です。大学の数学講義では新概念が今まで以上に多数登場しますが、そうした概念をもとにして具体的計算問題を実行する段階で必要となる数学能力の9割程度が、中学高校程度で済みます。ここでは、自らの数学基礎知識を気軽に再確認する意味で、以下に問題を列挙しましたので、ためしに解いてみてください。やさしい問題ばかりで高をくくっているように思われますが、工学部では迅速かつ正確が重要ですので以下の10問を1分程度で全問正解するくらいの気持ちで試してみてください。

- (1)  $\frac{7}{8} - \frac{4}{5} =$       (2)  $\frac{1}{6} \div \frac{7}{5} =$       (3)  $2 \div 0.25 =$
- (4)  $\{5 + (4 - 1) \times 2\} - 5 \times (6 - 4 \div 2) =$
- (5)  $\| -1 | - | -3 | =$       (6)  $\sqrt{3} \times \sqrt{27} =$
- (7)  $3x + 1 = 7$  のとき  $x =$       である。
- (8)  $3x + 1 < 4$  をもたす  $x$  の範囲は      である。
- (9)  $x^2 + 2x - 4 = 0$  をみたす  $x$  は  $x =$       である。
- (10)  $|x + 1| = 3$  のとき  $x =$       である。

全問正解できた人はよろしいでしょう。ふるわなかった人は高校時代の計算練習を今から復習するのも決しておそくはありません。ぜひこの程度の計算は早期に克服していただきたいです。



助教授 原田 建治

みなさん、ご入学おめでとうございます。情報システム工学科1年担任の原田建治です。専門の研究分野は光情報処理です。3次元的に情報を記録するホログラフィックメモリ、偽造防止目的のセキュリティーホログラム等の研究をおこなっています。まだ新しい学生生活が始まったばかりで、不安も多いと思いますが、たくさんの方友を作って、早く新しい生活環境に慣れてください。これからの4年間、一生懸命勉強して、有意義で楽しい学生生活を送ってほしいと思います。そして、将来、情報システム工学の技術者、研究者として社会で活躍することを期待します。

### 機能材料工学科



助教授 村田 美樹

『よく遊び、よく学べ』

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。新しい大学生活への期待に胸を膨らませていることでしょう。私からのメッセージはタイトルの一言に尽きます。大学生の間にしかできないことがたくさんあると思いますが、「学ぶ」だけ「遊ぶ」だけでは人間性を養うことはできません。講義でもサークルでも学外活動でも何でもいから、楽しみながら、そしてバランスをとりながら幅広く取り組んでください。色々な所で、色々な人と出会い、友人をつくり、色々な話をするることによって、幅広く物事を見られる人、柔軟な思考のできる人に成長していくと思います。四年間が充実した実り多い日々であることを祈っております。

# キャンパスライフ



## 自動車及びバイク通学について

本学では、構内の交通規制を実施しており、自動車通学は許可制となっています。下記の条件を満たす者で、自動車通学を希望する場合は所定の期間（掲示でお知らせします。）に学生支援課で手続を行ってください。

<1～3年次学生及び卒業研究未着手の者>

- ・本学から道程3km以遠で、かつ居住区からの交通事情が悪い等やむを得ない事情があると認められる者
  - ・身体に障害がある等、特別な事情があると認められる者
- <4年次学生（卒業研究着手者）及び大学院学生>
- ・本学から道程1.5km以遠で、かつ居住区からの交通事情が悪い等やむを得ない事情があると認められる者
  - ・身体に障害がある等、特別な事情があると認められる者

## 証明書の発行について

<証明書>	<発行場所>
在学証明書	→ 自動発行機
卒業(修了)見込証明書	→ 自動発行機
健康診断書	→ 自動発行機 (健康診断を受診しないと発行できません。)
成績証明書	→ 教務課
学生旅客運賃割引証(学割証)	→ 自動発行機 (1回ごつき2枚、年間8枚まで)
通学証明書	→ 学生支援課

## 交通ルール

本学では、故意又は重大な過失による交通事故及び特に悪質と思われる交通規則違反については、学生の本分に反する行為があったものとして学則第63条に基づく懲戒の対象となっています。

最近、交通事故・違反が激増しており、不幸な交通事故も発生しています。

また、学内で暴走行為をする車両も見受けられます。**交通事故は、加害者になっても被害者になっても悲惨です。交通安全を心がけましょう。**

### 許可車両の構内交通ルール

- (1) 構内では制限速度15km以下で走行すること。
- (2) 構内での移動に自動車・オートバイを利用しないこと。
- (3) 構内では必ず学生専用駐車場を使用し、路上駐車はしないこと。

## 駐輪

### あなたの自転車はどこに……？

本学では、自転車通学者のために、体育館横等に専用の自転車置き場を設置していますが、大学付近の道路やゴミステーション付近に自転車を止める者が後を絶たず、付近の方々から、交通の妨げとなるばかりでなく、道路工事やゴミの収集に支障がある旨の苦情が来る等マナーの低下が著しい状況にあります。

あなたの心掛けひとつです。

みんなが気持ちよく過ごすためにルールを守りましょう。

## 喫煙

本学では、講義室内、廊下、歩行中、図書館閲覧室等の喫煙は禁止しています。学内での喫煙は喫煙室で行ってください。

### 喫煙室

第2講義棟2階ロビー、総合研究棟1階ロビー、掲示コーナー、大学会館、電気電子工学科棟2階、情報システム工学科棟2階、機能材料工学科棟1階

## 飲酒

### アルコール前線接近中 —死を招くイッキ飲み—

お酒の飲み過ぎ、若いときからの飲酒の習慣化は命を縮めます。

これから、新入生歓迎コンパ、大学祭、サークルのコンパ、年末コンパ等で飲酒の機会が多くなりますが、飲酒事故が発生しないよう十分注意してください。

# お知らせ

## 学生よろず相談室から

入学後の1カ月くらいは、入学関連行事、履修登録、サークルの加入などで結構忙しく、あっという間に過ぎるようです。しかし、5月も半ばくらいになると今までの緊張が緩み、脱力感や、ホームシック、友人や講義などの問題で悩みが生じて来ることもあるでしょう。そんな時は頑張らずゆっくり休むのもいいですし、友人と声を掛け合うのもいいでしょう。それでもどこかすっきりしない、誰か専門家に話を聞いてもらいたいといったときは気軽に「学生よろず相談室」をご利用ください。

### 『学生よろず相談室』はあなたの

友人や教員との人間関係の悩み…

最近気分が落ちこんでやる気が起きない…

誰かにゆっくり話を聞いてもらいたい…

将来の進路について迷っている…

悪質商法に引っかかったみたいだ…

親子関係で悩んでいる…

履修方法がよく分からない…

異性関係で悩んでいる…

こんな悩みの  
相談に  
乗ります。

相談の申込み

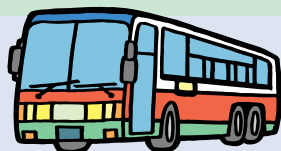
**学生支援課** (学生よろず相談窓口)へ直接申し込むか、電話(FAX)又はメールでも受け付けます。

**Tel:0157-26-9183 Fax:0157-26-9185**  
**mail:gakusei09@desk.kitami-it.ac.jp**

学生相談受付員はあなたの悩み解決をサポートできる学生相談員に責任を持って取り次ぎます。

もちろん **秘密は絶対に漏らしません。**

学生相談員: 各学科長、各学科担任、学生委員会委員、教務委員会委員、就職担当教員、保健管理センター長、ハラスメント相談員、カウンセラー(臨床心理士)(要予約:月、金のみ)など



## 新入生オリエンテーションセミナー

北見工業大学では、毎年新入生を対象として屈斜路湖畔にある本学屈斜路研修所において、1泊2日の合宿によるオリエンテーションを行っています。クラス内の親睦を深め、学生生活のいろはをクラス担任や先輩から学ぶことのできる貴重な機会ですので、必ず参加してください。詳しい日程や費用等については掲示やクラス代表を通じてお知らせします。



▲屈斜路研修所

## KITキャンパスインフォメーションについて

本学では掲示板の他に『KITキャンパスインフォメーション』(URL: <http://www.kitcampus.jp/>)を通じて、大学からの連絡・休講・補講情報を発信しています。掲示板と併用して有効に活用してください。

なお、検索に必要なID及びパスワードは、個人の学生番号となっています。不明な点は教務課までおたずねください。



▲QRコード

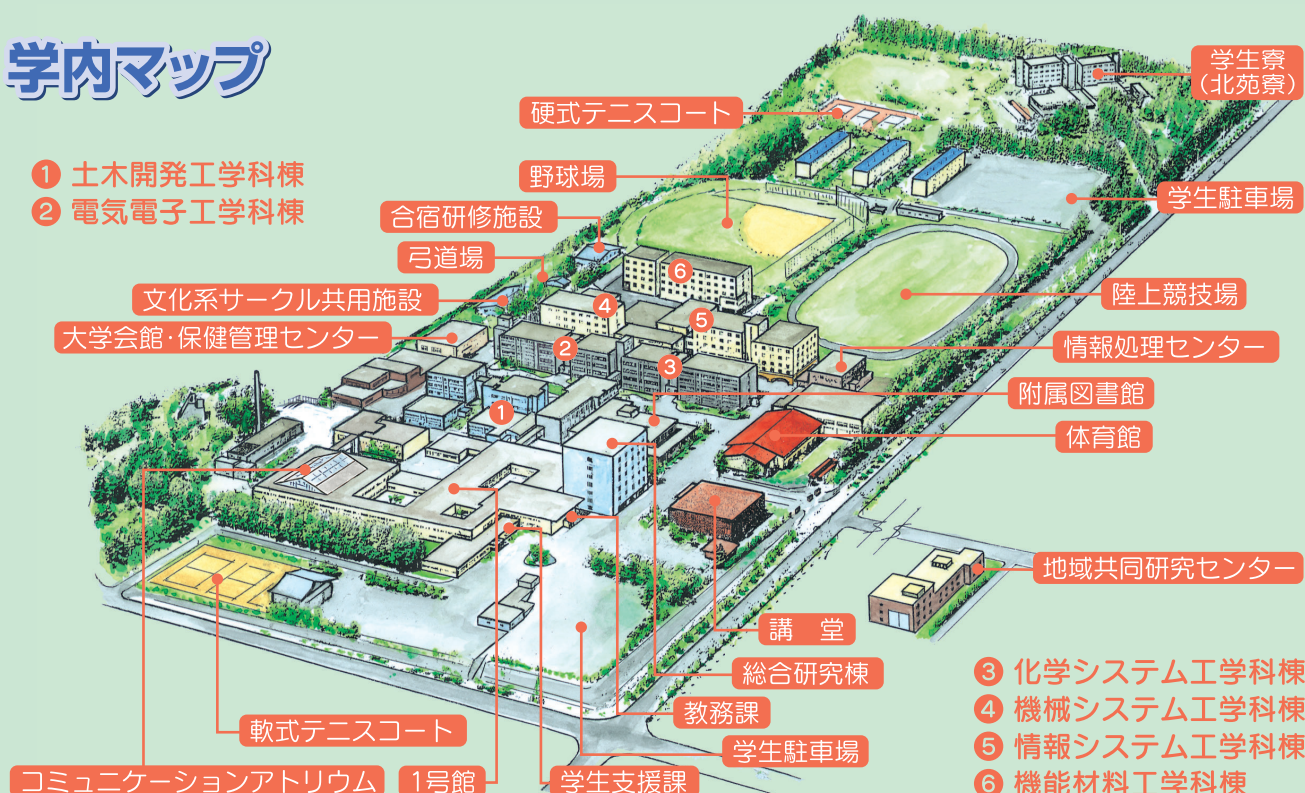


# 年間スケジュール

4月3日(月)	前期授業開始(2年次以上)
4月6日(木)	入学式(編入学生を含む)
4月7日(金)	新入生ガイダンス
4月10日(月)	前期授業開始(1年次)
4月10日(予定)	日本学生支援機構奨学生出願書類の配布・説明会
4月10日(月)~14日(金)	履修届受付期間
4月上旬	駐車許可申請期間(2週間程度)
5月1日(月)	休講 開学記念日振替
5月2日(火)	臨時休講
5月上旬	定期健康診断
5月上旬~6月下旬	新入生オリエンテーションセミナー(各クラス単位で実施、屈斜路研修所)
5月下旬	東北北海道国立三大学体育大会(北海道教育大学釧路校)
6月上旬	平成18年度後期分授業料免除申請用紙の配布・説明会
6月23日(金)	休講 大学祭準備(予定)、第1回就職ガイダンス(年4回、予定)
6月24日(土)~6月25日(日)	大学祭(予定)(P6~P13参照)
6月下旬(予定)	平成17年度奨学・奨励金授賞式
7月7日(金)~7月17日(月)	北海道地区大学体育大会(帯広畜産大学他)
7月25日(火)	金曜日授業振替日
7月26日(水)~8月4日(金)	前期定期試験
8月5日(土)~9月25日(月)	夏季休業日

8月下旬	全国国立工業大学柔剣道大会(東京工業大学)
9月15日(金)	学位記授与式
9月26日(火)~9月29日(金)	集中講義期間・補講等調整期間
10月2日(月)	後期授業開始
10月2日(月)	秋季入学式
10月下旬	平成18年度交通安全講習会(予定)
12月1日(金)	休講 推薦入学試験(予定)
12月上旬	リーダーシップトレーニングセミナー(屈斜路研修所)
12月23日(土)~1月8日(月)	冬季休業日
12月23日(土)~12月26日(火)	4年次再試験(卒業予定者)
1月9日(火)~1月12日(金)	集中講義期間
1月16日(火)	金曜日授業振替日
1月19日(金)	休講 大学入試センター試験準備
1月20日(土)~1月21日(日)	大学入試センター試験
2月7日(水)	金曜日授業振替日
2月中旬	平成19年度前期分授業料免除申請用紙の配布・説明会
2月13日(火)~2月23日(金)	後期定期試験(卒業研究審査を含む)
2月24日(土)~3月31日(土)	学年末休業日
3月12日(月)	後期日程入学試験
3月中旬(予定)	平成18年度学生表彰式
3月16日(金)	学位記授与式
3月30日(金)	19年度編入学生ガイダンス

# 学内マップ



# 大学祭特集 PART1

## 大学祭研究 —傾向と対策—

間近に迫った大学祭シーズン!

「敵を知れば百戦危うからず」、今年も最高の大学祭を創り上げるために北見工大の大学祭の歴史をちょっとおさらいしてみよう!

### 概観

さて、今でこそ、模擬店が大学祭のメインとなった感があるが、当初は学科(学内)開放と呼ばれる学科の研究紹介や実験公開などが大きな存在感を示していた。模擬店についても現在はサークル単位の出店が主だが、初期にはクラス単位の出店が積極的に行われていた。また、講演会、討論会、シンポジウム(～年、昭和63年)、音楽鑑賞会などもあり、大学祭は今より社会色・文化色の強いものであった。さらに、かつての大学祭には「デモンストレーション」、「ファイヤーストーム」、「祝賀会」、「ダンスパーティー」、「社交ダンスパーティー」等に見られるように、学生同士の語らいの場あるいは学生同士のつながりを確認する場を創るために多くの工夫が凝らされていた。当時の学生達の間では大学祭を大学の学術・研究といったアカデミックな側面を外部へ積極的に発信したり、社会に対して何らかの問題提起を行ったり、自己が成長するためのきっかけとしたいという認識が共有されていた。ところが、大学紛争の季節が去った1970年代後半から、「マージャン大会・将棋大会」等が象徴とする娯楽色の強い企画が多くなっていった。このような大学祭における企画の変化は当時の学内や社会の雰囲気の変化を反映したものであることは言うまでもない。1970年代後半は、集団の団結や連帯を志向する前時代の学生文化に対する反動故か、あらゆる価値を許容する価値相対主義や個人主義的な風潮が、大学ばかりでなく、社会

全体を覆い始めた時代であった。その時代的流れは学生の大学祭に対する動向にも少なからず影響を及ぼし、大学祭に参加しない学生の増加や、その影響により初期の大学祭の中心を担ったクラス企画が影を潜めはじめたことが問題視されるようになったのもこの1970年代であった。以後、大学祭は常にその意義が問われ、存続の危機が囁かれ、今に至っている。以下いくつか項目ごとに見ていくこととする。

### 5つの節目 そして中止

大学祭の歴史を振り返る時、次の5つの節目を挙げるができる。

- ①短期大学から4年制大学へ移行した第6回(1966年、昭和41)
- ②夏季に激化した学内闘争の影響で冬季に実施された第9回(1969年、昭和44年)
- ③2年間の中止を経て開催された第12回(1974年、昭和49年)
- ④6月実施が復活した第17回(1979年、昭和54年)
- ⑤運営主体が学生自治会からサークル連合に移った第30回(1992年、平成4年)

重大事件としては、遅れて押し寄せた大学紛争の波によって1972年(昭和47年)、1973年(昭和48年)の2度にわたって中止を余儀なくされたことが挙げられよう。

### テーマ

かつての大学祭テーマは具体的に社会に対するメッセージ性が強

くテーマと言うよりは、むしろスローガン(「目をひらけ激動の世界に築こう確かな未来を」)に近いものが多かった。以降、哲学的で抽象的なもの(「天は語らず 人をして語らしむ」、「発想から展開へ」、「隴」、「LINK」、「風の中で」)、見た目の単純さとは裏腹に深い意味が込められた漢字のテーマ(「創造」、「漸進」、「礎」、「邂逅」、「宴」、「舞」、「彩」)、工学色を前面に打ち出したもの(「てくのろしい」)、大学祭のあり方から学生の気質、社会のあり方に対して疑問を投げかけるもの(「君は今何を見つめているか」、「熱情」、「理解」、「Don't you try?」)、学生に奮起を促すもの(「act!」、「Challenge」、「Soar into the sky」、「Wake up」、「ONE—みんなの心を一つに」、「collaborate」)、暗い世相の中に希望をみいだそうとするもの(「飛翔」、「不況を吹っ飛ばせ」)、ユニークな造語(「輝流」、「光箭」、「夢中人」)と多種多様なテーマが誕生した。そして、最近の一つの傾向はみんなで楽しもうというコンセプト(「祭」、「ハジケ放題好きにして」)に基づくものである。

### 会場・開催時期

かつて、大学祭における各種「コンサート」や「ダンスパーティー」、「展示会」等を広く市民との交流を求め、市内の公園、学校体育館、会館、ダンスホール、ホテル、デパート等で実施していた。しかし、模擬店は、大学祭が最初の数年を除き11月という寒い時期に実施されていたことから、校舎内に出店されるのが常であった。次第に学内の要望が

高まり、第17回（1979年、昭和54年）から再び6月に実施されるようになる、第22回（1984年、昭和59年）からは模擬店等が屋外に軒を連ねるようになり、翌年の第23回には大学祭史上初めて「野外ステージ」（第2体育館前）が設置され、その後の大学祭の原型となった。

## スポンサー

**工**大大学祭は工大が地域住民の大きな期待を受けて誘致されたという経緯や大学祭自体がその創成期から市民に向けた大学開放を理想として大きく掲げていたということもあってか、多くの市内事業関係者の支援に支えられてきた。当初は20～30件程度であったスポンサーの数も回を追うごとに増加の一途を辿り、最盛期には100件第17回（1979年、昭和54年）を数えるに至った。その後、減少傾向に転じたものの、1995年（平成7年）当時までは50～60件前後の安定したスポンサーがあった。しかし、近年は準備期間の短さや大学祭実行委員の組織力の弱さ等もあってか20件前後にとどまっている。

## 名物企画あれこれ

### その1) デモンストレーション

**今**でこそ大学祭期間は2日間、準備日も入れても、せいぜい3日間であるが、かつての大学祭は4日あるいは場合によっては5日間の長丁場であった。まず、前夜祭で行われたのが工大を出発し、市内中心部へ向けて（1976年～1979年は中心部のみ）練り歩く「デモンストレーション」であった。この「デモンストレーション」も時代によって変化してきた。当初は学生が自分達の教育環境や社会に対する不満や要求を市民に訴えるものであったが、次第に提灯や行灯、仮装といった「デモンストレーション」を盛り上げるアイテムの登場とともに、大学祭をアピールする宣伝パレードに性質を変えていき、ついにはクラスアピールや、この時ばかりと目立ちたい学生の自

己アピールの場となっていった。しかし、伝統あるこの催しも、第23回（1985年、昭和60年）を最後にプログラムから忽然と姿を消し、今に至っている。

### その2) ファイヤーストーム

**前**夜祭で「デモンストレーション」の後に行われたのが「ファイヤーストーム」であった。これは、グラウンドで、学生同士が酒を酌み交わし、歌や踊りに興じながら親睦を深める催しであり、第12回（1974年、昭和49年）まで毎年行われ、第17回（1979年、昭和54年）に一度復活したのを最後に途絶えている。

### その3) 祝賀会

**か**つては中夜祭にあたる「祝賀会」という催しがあった。これは大学祭の実施を祝い、同時に普段交流の機会の少ない教職員・学生が一同に会し、酒を酌み交わしながら、語り合う場というコンセプトで企画されたものである。この「祝賀会」の中ではスポーツ企画の表彰等が行われることもあり、文字どおり荣誉に輝いた学生を祝す「祝賀会」であった。これは、第11回（1971年、昭和46年）まで毎年実施された。

### その4) ダンスパーティー

**市**内のホテル等を会場に「フォークダンスパーティー」や「ダンスパーティー」が行われた。「フォークダンスパーティー」は第9回（1969年、昭和44年）まで毎年実施され、「ダンスパーティー」は第18回（1980年、昭和55年）まで実施され、1年のブランクを経て第20回（1982年、昭和57年）で復活し、その後、再び第38回（2000年、平成12年）に復活した。ちなみに、「ダンスパーティー」のバックミュージックはジャズバンド部の生演奏であり、まさに手作りのパーティーであった。

### その5) スポーツ企画

**か**つて、スポーツ企画の定番は「卓球」、「バレーボール」、「マラソン大会」であった。それに「バドミントン」、「ソフトボール」、「ハンドボール」、「サッカー」などが加わる形で今に至っている。その間、第22回（1984年、昭和59年）～第28回（1990年、平成2年）には綱引き

大会が毎年行われていた。ちょっと変わったところでは、第12回（1974年、昭和49年）のボーリング大会、第25回（1987年、昭和62年）の軟式テニス大会、硬式野球部による硬式ボールを打てることを売りにした第25回（1987年、昭和62年）の「バッティングセンター」、第31回（1993年、平成5年）の「PK合戦」、第33回・第37回のバスケットボールの「3ON3」がある。

### その6) レコードコンサート

**レ**コードコンサートは実施されない年もあったが、第27回（1989年、平成元年）まで行われた息の長い企画であった。クラシック、ポップス等ジャンルを問わず、レンタルした音響設備や講堂の贅沢な音響設備で心行くまで音楽を楽しむ催しであり、各自がお気に入りのレコードを持ち寄ることもできたが、CD時代の到来とLIVEが全盛になるにつれ姿を消すこととなる。

### その7) もちつき

**忘**れてはならぬ懐かしの催しに「もちつき」（1971年、1986年～2000年）がある。これは力自慢の学生や学生課（現在の学生支援課）の職員がつかたてのもちを無料で来学者に振舞うというもので好評を博していた。

### その8) サークル発表

**か**つての大学祭はサークル発表が一つの華であった。学内サークルにとどまらず、市内団体や小中学校と合同で展示会が開催されることもあった。美術部の作品展示、ジャズバンドクラブによるコンサート、アマチュア無線部による実演、落語研究会の独演会、演劇部の作品発表、漫画研究会のイラスト展示、シネマ会による自主制作映画の上映、弓道部による工大杯開催など近年の大学祭でお目にかかることなくなった催しも多くあった。今日まではほ途切れなく続くものに写真部の「写真展」や合気道部の「演武」などがある。一方で、ここ数年着実に発表の機会を重ね定番となったものもあり、吹奏楽部の「グリーンコンサート」（初演は第29回、1991年、平成3年）、情報処理技術研究会の展示（初出展は第28回、1990年、平

成2年)、軽音楽部ライブ、ダンス同好会のパフォーマンス、HUMAN RESWERCHの展示発表がそれである。また、2005年にはじめて陸上部による「24時間たすきりレー」が大学祭プログラムとして実施され、見事、24時間たすきをつなぐことに成功した。今後、大学祭の新しい名物になることが期待される企画の一つである。

### その9) その他

いつの時代においても学生の娯楽文化の象徴の一つに挙げられるものに「マージャン」がある。大学祭プログラムからもその根強い人気をうかがい知ることができる。「マージャン大会」は第13回(1975年、昭和50年)の初登場以来、第28回(1990年、平成2年)まで毎年プログラムのメインを飾った。1980年代に入ると「ラジコンカーレース」(1982年~1985年)が登場、さらに1990年代に目を移すとパンフレットの中で一際注意を引くようになるのが「オニオンピック」である。「たまねぎぼーず」という名のユニークなマスコットキャラクターもいて、これは回を重ねること5回開催された。とにかく知力、体力いずれも使わらしいのだが今となってはいかなる競技であったかについて知る術はない。1990年代前半には、全模擬店のメニュー制覇を目指す「早食い大会」や「我慢大会」、1990年代後半から2000年初頭にかけては「大声大会」や「三輪車大会」、「ミニ四駆大会」が相次いで登場し、名物企画として定着するかに思われたが、定番になるには至らなかった。現在は「腕相撲大会」、「早飲み大会」、「女装コンテスト」、「カラオケ大会」の4企画が不動の地位を獲得していると言ってよいだろう。

### 模擬店

模擬店の中には先輩から後輩へとサークルあるいは研究室単位で現在まで暖簾が受け継がれている老舗もある。代表的なものに「焼肉レイノルズ」(機械システム工学科流体制御工学研究室)と、くじ引きの

「ゴマちゃん」(化学システム工学科有機合成研究室)がある。前者は第26回(1988年、昭和63年)に、後者は第27回(1989年、平成元年)に初登場した。「ゴマちゃん」の場合、最初は飲食物を取り扱う模擬店であったことはあまり知られていない。また、毎年好評を博している中国人留学生出店の餃子屋が初お目見えしたのは第29回(1991年、平成3年)である。これら老舗の列に名を連ねつつあるものに「昔屋(むかしや)」(1998年~)がある。ちなみにその本家(?)は北見市中心部に店舗を構える居酒屋であると思われる。模擬店の数は毎回若干の数字の増減はあるものの、回を重ねるごとに順調な伸びを示して来ており、最近の大学祭には20前後の模擬店が軒を連ねるようになっている。

### 映画上映

かつては政治的イデオロギー色の強い作品が盛んに上映されていた。1970年代後半は邦画・洋画を問わず、ホラー映画や青春映画などジャンルの幅が広がり、娯楽映画も上映されるようになる。1980年代に入ると「ロッキー」、「ターミネーター」、「ダイハード」、「スターウォーズ」、「バックトゥー・ザ・フューチャー」、「風の谷のナウシカ」など、現在でも親しまれているタイトルが次々と上映された。しかし、第39回(2001年、平成13年)以降、映画上映はない。

### 芸能人

かつて、工大大学祭にも芸能人が訪れていた時代がある。その最初は河村通夫(第19回、1981年、昭和56年)で当時は歌手としての来学であったが、最近では、某道内ラジオ局で看板番組を持つパーソナリティー、料理に一家言のある人と言えはご存知の方もいるかもしれない。以降、沢田聖子(第20回、1982年、昭和57年)、佐々木好・手風琴(第22回、1984、昭和59年)、伊藤サヤ

カ(第24回、1986年、昭和61年)、爆風スランプ(第25回、1987年、昭和62年)、LOOK(第26回、1988年、昭和63年)、渡辺美奈代(第29回、1991年、平成3年)と一部メジャーな名前も見受けられるようになる。また、芸能人とはジャンルが違うが、日本フィル弦楽四重奏団がコンサート(第21回、1983年、昭和58年)を行ったこともある。しかし、大学祭を取り巻く財政事情もあり、1991年を最後に芸能人の来学は途絶えている。

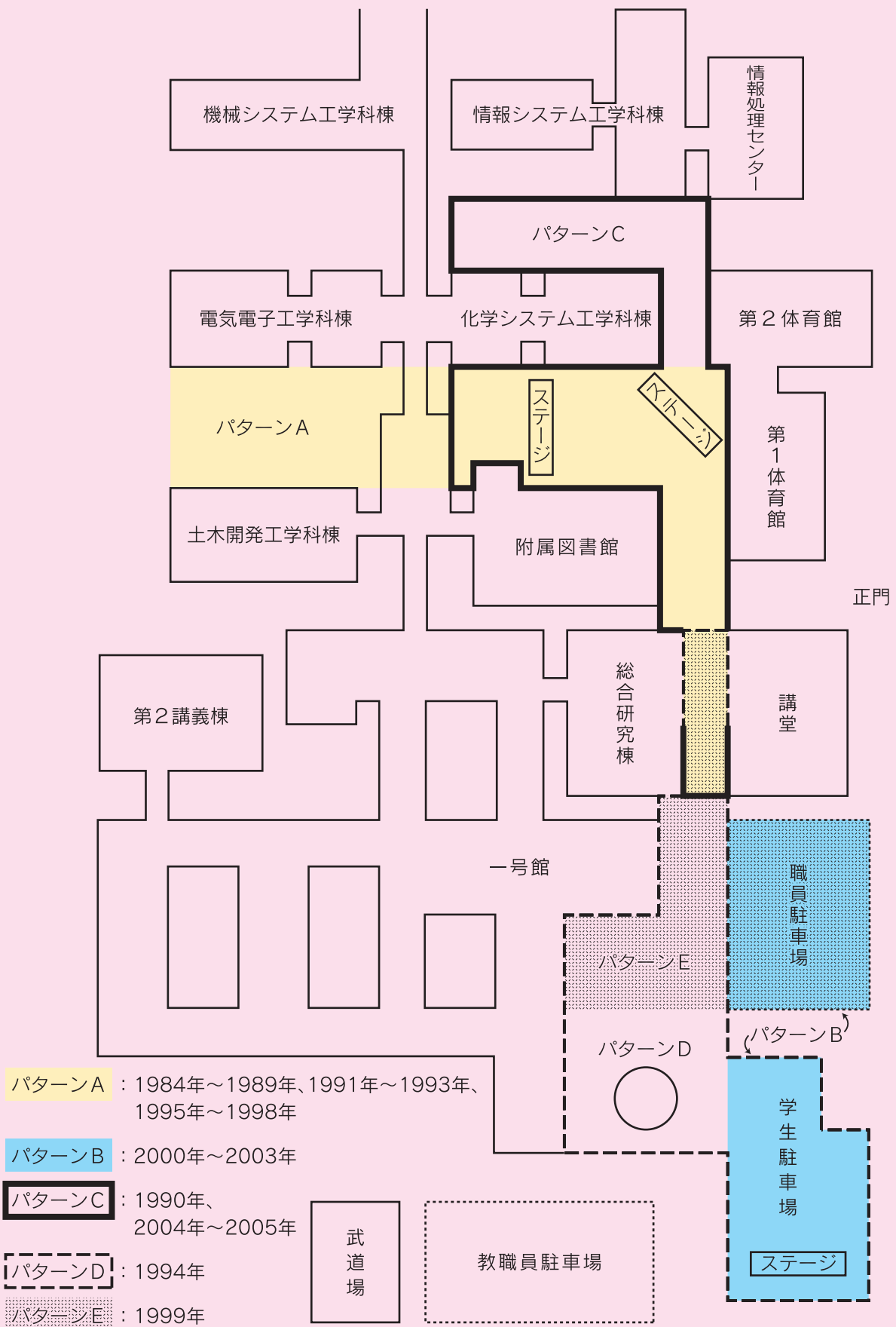
### 今後の大学祭の展望 —名前はまだない—

今に始まったことではないが、大学祭は常に存続が危ぶまれ、今まさに危機に瀕しているといっても過言ではない。大学祭前日の休講措置をいいことに遠出して、大学祭に顔を出さない学生が多くなったといわれて久しい。学生の中には大学祭の醍醐味を味わうことなしに卒業していく者もきつといるに違いない。約半世紀にわたる工大の大学祭の歴史はそんな風潮に抗おうとする実行委員達の試行錯誤の歴史であったとも言える。大学祭は、祭りを創る側として直接関わる場合は言うまでもなく、客として足を運ぶだけでも楽しいものである。大学の個性を世に問うこれ以上ない一大イベントであるはずだ。昔の工大の大学祭は今より内容が豊富で、学生の意気込みと活気に満ち溢れていたことはこの特集から伝わったのではないと思う。この企画の狙いはまさにそこにあり、読んでくれた学生のうちのほんの何人かでも大学祭に関心を持ち、あわよくば進んで実行委員に立候補してくれれば、これ以上喜ばしいことはない。工大の大学祭の復興は学生一人ひとりの肩にかかっている。

最後に一つ提案したい。工大の大学祭にはおよそ50年の歴史がありながら不思議とこれといった愛称がないことはお気付きだろうか。これを機に一つ宣伝効果の期待できる名称を考えてみてはいかがだろうか。今からでも大学祭の伝統を創るのに遅いということはないのだから。

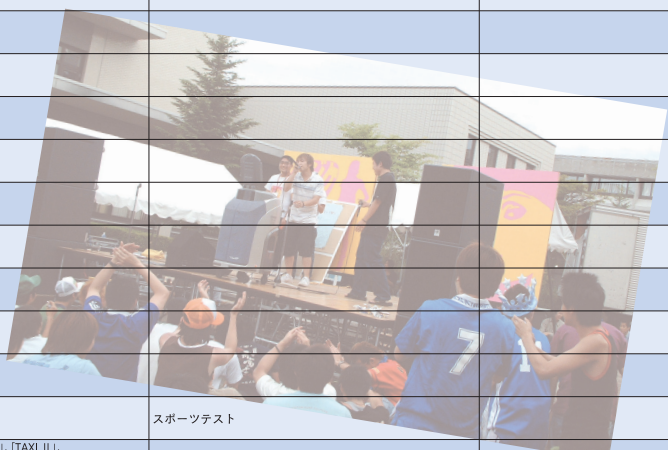


# 大学祭会場変遷図 (1984年~2005年)





スポーツ大会										映画上映	講演会	シンポジウム	その他企画
バレーボール	バスケットボール	ハンドボール	テニス	サッカー	卓球	マラソン	綱引き	野球	その他				
○			○	○				○		「サーカス小僧」、「アトランティス」、「鶴鶴とりでの決闘」 「浮沈母艦サラトガ」		「開校から現在まで」、「学生生活の裏表」 「男女交際について」	
			○	○						?	「社会が学生に期待するもの」 「学生生活の今昔」	「大学管理制度等」	運動会
						○				?	「胃腸並びに胃十二指腸胃潰瘍について」 「オホーツク周辺の古代文化について」		
										「日韓会談」、「汝多くの戦友たち」、「武器なき闘い」 「マンガ大あはれ孫悟空」	「国際情勢の見方と改革の今後」 「みこし」をかつくということ—日本人の外国語理解—	「マスコミと私たち」、「私たちの要求と権利について」	名寄女子大演劇部、コーラス部記念出演
						○				「キムドン」、「泥と炎の死闘」、「ふしぎなにき織」	「明治維新と日本の開拓史について」		
						○				「にんじんちゃん」、「小選挙区制」	?		うたこえ喫茶
○	○	○			○					「私は良になりたい」、「隠し砦の三悪人」	「にんおとは何か」、「尊属殺人と人間の平等」		
								○	駅伝マラソン (美穂—北見)	「武器なき戦い」、「禁じられた遊び」、「にっぽん泥棒物語」	「アイヌ民族の歴史とその民族性について」	「寮問題について」、「学生の生き方」 「青年学生のおかれている現状」	
										「奴隷工場」、「1960年代安保闘争の記録—不滅の足跡—」 「汝多くの戦友たち」	「大学問題とこれからの大学のあり方」	「大学問題と安保沖縄問題について考える」、 「政見討論会」	みんなうたう会 弁論大会
										「人間の壁」、「青春」	「70年代の大学の職務と役割」、「公害と科学技術者」 「学内教官による講演」		
○										「ドレイ工場」、「サイゴンの少女ニュン」	「ゲッチェン大学における2年間の留学生生活を省みて」 「聞かされた人々」		「働く婦人をかこんで」、「女性は働くべきか」 「家庭に在るべきか」、「我々にとつての科学技術」、「大学とは」
○										「キクとイサム」、「日本列島」、「抵抗の詩」、「隠し砦の三悪人」 「青春残酷物語」	「USAにおける岩盤力学の研究方向について」 「流れの譜」の原作者、「映画と原作の中の自分」	「戦後体制批判」、「津別争議とその歴史背景」 「大学と日本をとりまく情勢の中の青年、学生の役わり」	ポージング大会
○										「船艦がチョムキン」、「人間の壁」、「ビルマの堅琴」 「ハーツ・アンド・マインズ」、「家族」、「新ツアを打開しよう」	「民主思想振り起こし」	大学生は今何を考えるべきだろうか「オロッコに関する学習会」 「常設トンネル海難タコ労働者報告」、「情性の現代を克服する人間の条件とは」	
										「白夜の通り魔」、「植山節考」、「幕末太陽伝」、「長靴をはいた猫」 「三池斗争」	「ハーバード大学に留学して」、「一人思えば—青春」	「オロッコの人權と文化」	
										「不良少年」、「鉄腕アトム」、「男はつらいよ—私の妻さん—」 「ロックフィルムコンサート」	「若者は何を学ぶか」、「私が大学で学んだこと」 「科学的なものの見方」	「学ぶ問題について」、「大学の危機的現状と学生生活を考える」	
										「いつも心に太陽を」、「日本昆虫記」	「経営と技術者」、「工大における就職」	「学ぶ問題について」、「有事立法その他」	
○					○					「ジョニーはどこに行った」、「約束」	「現代の若者について」		
○	○				○					「真夜中のカーボーイ」、「HASH」	「80年代における大学と学生の役割」	「学ぶ問題について」	
○	○				○					「ロッキー」、「大自然の驚異」	「青年期の精神衛生について」		なんでも記録会(早飲み、早食い、腕相撲) 交通安全講習会
○					○					「カリオストロの城」、「時計じかけのオレンジ」	公開講座(「エネルギー問題について」、「昭和史、悪劇の教訓」)	「学内車両乗り入れ規制について」	
										「博士の異常な愛情」	特別講演「北見を開いた人びと」		日本フィル弦楽四重奏団コンサート
								○		「四季・奈津子」、「モスラ対ゴジラ」	特別講演「文学の礎としての風土」	「学内道路の環境とその影響」	
								○		「野菊の墓」、「キングギドラ対ゴジラ怪獣大戦争」		「工大生の気質」	プロレス、炭酸飲料味あて大会
○		○			○			○		「スバルタンク」、「妖怪大戦争」			
								○		「ターミネーター」			中島みゆきの部屋 (中島みゆきのレコードを聴く催し)
											特別講演「ソーラーカーレースに参加して」	「核問題を考える」	
								○					
								○		「ダイハード」、「スティング」、「風の谷のナウシカ」			
													ムジカ・アンティカ・キタミ(機械小林教授、 情報柴田教授 共通学質教授)演奏会
													体力測定
													人間将棋
													栄養満点とかくー気 バー茶ファイター2大会
													大抽選会
													薄荷童子のよさこい実演
○													金魚すくい
○													男子自慢コンテスト
										?	スポーツテスト		
										「シャフト」、「ピンチランナー」、「M:12」、「TAXI III」、 「スターウォーズ エピソード1」、「バックトゥーザ・フューチャー」 「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・チャイナ」			
													射的屋ゴルフ
													中夜祭
													二人羽織
○													ストラックアウト、薄荷童子のよさこい実演 24時間たすきりレー、殴られ屋
14	6	6	3	2	9	4	7			28	23	16	



# 大学祭特集

## PART2

# 大学祭実行委員会のお仕事



化学システム工学科4年  
**小島輝大君**

●大学祭実行委員をやりようと思ったきっかけは何ですか？

**小島** 興味です。ステージ企画を見て、楽しそうだっていうのと、やってみたいっていつていうのが2つ考えられます。

**藤原** はじめはサークルの中から一人行かなければならないという事になり引き受けました。高校の時に生徒会もしてお祭りは大好きです。

**宮地** サークルの部長からやってもらえないかと頼まれました。

●あなたはどんな仕事を担当していましたか？具体的に教えてください。また苦労した点、やりがい、実行委員の経験を通じて得たもの等があったら教えてください。

**小島** 大学祭に必要な資料作り、全体をまとめること、次世代の実行委員を育てること、学長先生や、いろいろな人にお願ひ等もしました。

全ての仕事を理解し、それぞれの人に役割を伝えること、みんなを一つにまとめることの難しさを学びました。

**藤原** 去年は、大学祭副実行委員長ということで活動させていただきました。広報・物品・企画とどの仕事も少しずつ手伝いました

が、一昨年は、企画の班長をやらしてもらっていたので、こちらの方の手伝いをしながら他のところも見て回るといった感じで仕事をしていきました。しかし、日が迫ってきて余裕がなくなってくると仕事の区別なく働いていました。

**宮地** 副委員長、物品班長として大学祭に必要なものを作ったり、発注したり、あと模擬店の管理などをしていました。

とにかく、副委員長というプレッシャーと仕事の多さに日々衰弱していきました。

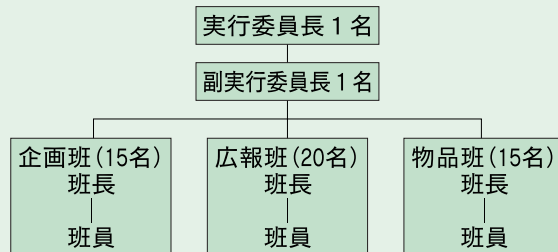
●2005年の大学祭に点数をつけるとしたら何点ですか？また、その理由は何ですか？

**小島** 90点。自分の中ではもっとやりたいことがありましたが、皆さんに喜んでいただけたと思います。今年行う人に期待します。

**藤原** 大学祭に点数をつけられるとしたら、それは来てくれて楽しんでもらったお客さん達だけだと思います。ですが、あえて点数をつけるならば、あと、1.3倍くらいは頑張れたのではないかという意味で、76.923点です。

**宮地** 30点ぐらい。準備から当日までもっと楽しくやりたかったです。

〈現在の大学祭実行委員会組織構成〉



※副実行委員長が翌年の大学祭の実行委員長になるのが通例

〈大学祭実行委

	4
	上旬
企画班	
広報班	
物品班	
委員長・副委員長	日程決定



電気電子工学科3年  
**宮地一成君**



華やかな大学祭の陰で地味に頑張る健気な連中がいる。人は彼らを「大学祭実行委員」と呼ぶ。そんなわけで、昨年の実行委員経験者にちょっと話を聞いてみた。

●今年も、大学祭実行委員として働いてみたいですか？また、その理由は何ですか？

**小島** 次の実行委員長を陰で見守りたいと思います。自分が出て行っては次の実行委員がやりにくいと思います。ステージ企画ではたくさん頭の中で温めている企画があります。

**藤原** 今年は4年生になるので直接的に大学祭に関わることは少なくなるとは思いますが、人手が足りていなかったり、「これはどないしたらええねん！」っという事態になれば飛んで行きます。

**宮地** 今年は、実行委員長なので、どんな大学祭になるのか今から不安です。

●読者に向けて大学祭実行委員の仕事の魅力を大いにアピールしてください。

**小島** いろいろな友達ができたり、一つの企画、祭りを創る難しさを学ぶことができます。そして、何より、やっているだけで楽しくなってきました。やらなければ楽しさはわかりません。イメージとは違って楽しいです。

**藤原** はっきり言って辛い仕事です。毎日毎日仕事をして1円のお金にもなりません。昼休みも

放課後もないときもあります。日にちが無くなってくると時間との戦いです。睡眠時間を極限に削って働いたりもします。ですが、仲間との連帯感。みんなで作りあげているのだという充実感。そして、何より、お客さんの楽しんでいる顔を見ると今までの事が吹っ飛んでしまうくらいの幸福感を頂けます。終わってみると楽しかったと振り返ることができるのです。だから、僕は大学祭実行委員がやめられないのでしょうか。

今年から北見市も新しくなりました。すごくいい時期に来ていると思います。もし、これで大学祭に興味を持った人がいたらあなたの力で北見工業大学の大学祭を変えてください。よろしくお願いします。

**宮地** 大学祭を盛り上げたいと思う人は積極的に参加してください。

●最後にあなたにとって大学祭とは何ですか？

**小島** きっかけです。何をやるにもきっかけ。そして、それを行う気合が必要だと思います。

**藤原** ただの祭りではない祭りです。そして、戦いでもあり、交

流でもあり、楽しみでもあり、苦しみでもあります。たくさんのお客さんが来てくれるから大学祭があるから頑張れる。下手なことはできない。少ない予算の中でいかに創意工夫してお客さんを楽しませるか、工大らしきを出して工大をアピールしていくのか。その様な事との葛藤です。

多くの人に出会い助けられ、多くのことを学ばしてもらいました。一つの目標に向け皆が一丸となって進んでいくのは、小さな小さな会社のようなものかもしれません。なので、僕にとって大学祭とは、大学祭という目標に向かう「大学祭実行委員会」という情熱あるベンチャー企業なのだと思います。もちろん、報酬はお客さんたちの笑顔です。

**宮地** 大学祭とは楽しいものです。大学祭の日にも勉強やアルバイトで参加しない人もいるでしょう。でも、一人でも楽しんでくれる人がいたら僕にとってそれ以上嬉しいことはないと思います。

委員会タイムスケジュール(平成17年度の例)

5月		6月		大学祭前日	大学祭当日
中旬	下旬	上旬	中旬		
	・連日の企画会議 ※企画班に昼休みはありません。	・学生、教職員からの企画募集(模擬店、スポーツ企画) ・メインステージ設置場所選定	・各企画・模擬店等から企画書受付 ・景品・必要物品購入 ・模擬店等配置計画策定	・学内交通規制計画策定 ・企画参加者募集	・各企画の司会進行 ・ゲストの接待  ・会場設営 ・学内交通整理 ・食品サンプル回収 ・消毒液配布 ・ゴミ拾い ・パトロール ・後片付け ※翌日は普段とおり講義があるので速やかに現状復帰を行います。
	・スポンサー開拓 ※人海戦術で市内を限なく歩き回ります。	・各模擬店等の企画に基づく物品配分計画策定及び電力計算 ・学内外各方面へ物品借用依頼 ※物品班長は頭を悩まし、眠れない日々を過します。 ※リース会社へ物品発注、中学校、高校等に借用依頼を行います。	・プログラム ・ポスター作成・発注	・プログラム ・ポスター配布(周辺の学校、スポンサー)	
・実行委員募集		・模擬店関係者を対象とした衛生講習会実施	・学長先生や学外ゲストに参加依頼 ・保健所へ営業許可申請	・営業許可書作成・配布	

# 新任教員 自己紹介

去年の10月以降に本学に着任された  
2名の先生にいろいろお話  
をお伺いしました。――



地域共同研究センター 教授

鞘 師 守

*Mamoru Sayashi*

## ◆先生の略歴を教えてください。

**生** まれも育ちも関東です。東京、千葉、神奈川を転々としてきました。29歳まで、学校で金属の凝固を研究していました。その後自動車会社に移り、25年間材料研究を通して車の発展に携わってきました。昨年8月から北見工業大学に来了ています。

## ◆先生のご担当されている科目を教えてください。

**学** 部では、有田先生と「総合工学Ⅱ」を、また青木先生と「金属材料工学Ⅰ」を担当しています。大学院では「研究・開発システム工学」を、また、石川先生と「機能金属材料工学特論」を担当しています。

## ◆先生の研究分野の魅力について大いにアピールしてください。

**私** の専門分野は材料工学です。組織学・変態工学・凝固工学の観点から、「ヤング率の小さな金属材料を生み出す研究」と、「青木先生・石川先生が見出された水素透過合金の特性を向上させる研究」を行っています。電動自動車の普及を妨げている難問の解決を目指し、がんばっています。

**材** 料研究の面白さは何と言っても、「機械屋さんや電子・電気屋さんなどが実現できずにいる夢を、材料面の工夫でバツと現実の物にしてみせることができること」ですね。生み出した材料や材料技術がそうして実用化され、世の中の役に立つ。それを目の当たりにすることは、材料工学に携わる者にとってこの上ない喜びです。

**技** 術的な研究分野の話ではありませんが、ぜひお話ししておきたいのは地域共同研究センターと知財本部での私の仕事です。いずれも、

高度な智の創造拠点である大学の知的財産を、うまく生み出してうまく社会で活用するための仕事です。大学の社会貢献を最大化して、それが元に戻って大学の存在価値を高める。また、それがより大きな大学の貢献・社会の発展へと繋がっていく、そんなループを思い描いています。将来の社会を支えていく、夢のある仕事だと思いませんか。

## ◆北見工大や工大生の印象を教えてください。

**私** は勝手に、「地方の国立大学は、ただっ広く、お堅い。」と思い込んでいました。しかし、実際には全く違っていました。小ぢんまりとしていてとても家庭的な大学との印象を持ちました。

**工** 大生に対しては“pure”との良い印象を持っています。全国から集まってきているはずの学生諸君を一まとめにした全体からそのような印象を受けるといえるのはどういうことなのか考えている最中です。

◆先生のこれまでの人生におけるターニングポイントや生き方に影響を与えた出来事等がありましたら、教えてください。

**特**別な出来事が有ったわけではありませんが、中学校時代が私の大きな変革期だったように思います。きっかけは、「食べ物の好き嫌いって何なんだろう?」と考え始めたことでした。それまでの私には、例えばプリンやお茶漬、辛いものなど、食べることができないものが数多く有りました。もちろん、それらが好きだと言う人は私の周りにも大勢いましたし、過去に私と同じような嫌な経験をしながらもそれらが嫌いになっていない人も大勢いました。からだの具合が悪いわけでもないし、人間の作りがそれほど違っているとも思えないのに、嫌いで食べられないものが私にだけたくさん有ることを大変不思議に思いました。そんなことを何ヶ月かぼんやりと考えているうちに、「嫌いだ、食べられないと自分で決めていただけじゃないのか?」と思ひ至りました。いつの間にか、「内なる偏見廃止運動」に夢中になっていきました。どんどん変化していく自分が自覚できたからです。中学校を出るころには嫌いな食べ物はほとんど無くなってしまいました。同時に、そのアナロジーに思いを馳せているうちに、人や社会に対する見方や人生観も大きく変わっていきました。変わったと言うよりも、でき上がっていったと言うべきかも知れません。いろいろな価値観や考え方、感じ方、の空間全体の中で、自分がどこに位置しているのかを見るようになりました。自分と他の双方を同じ位置に置いて観ることも、この頃学んだように思います。今の自分の骨格はこの頃に作られたのだと思います。

◆先生のご趣味を教えてください。

**こ**ちらに来る前は、アーチェリーをやっていました。北見ではまだ、同好の士もフィールドも見つかっていません。

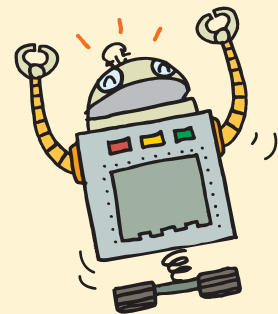
一方で、今では北見とその周辺を探索して回ることが新たな趣味になってしまいました。「歴史シリーズ」、「木のシリーズ」、「農産物シリーズ」、などいろいろな企画しては出かけています。「寒さシリーズ」も、関東っ子の私にとっては大変気に入った企画です。宿舎の窓の外に温度計をぶら下げます。気温が下った夜や週末には家を飛び出して、寒さや寒さの為せる技をあちこちで楽しめます。マイナス22度の「常呂川河畔にできている樹霜」や「沈む夕日に蒼い陰影をもらった相内の雪原」などは、みんなに教えて回りたいぐらいの素晴らしさです。

◆最後に学生へのメッセージがありましたら、一言お願いします。

**私**が会社生活の中で痛感したことをベースに、少し長い一言を。当然のことながら、工学系の大学出身者には技術を生み出すことが期待されます。しかし、実社会

では、技術者や研究者はそれだけをしていれば良いわけではありません。その成果を実際に社会に役立つところまで持って行くための、いろいろなことを担わなければなりません。そのために分かっている必要ならぬこと、できなければならぬことがたくさんあります。

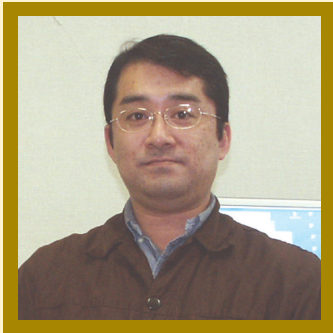
**諸**君の技術者・研究者としての生活が、数ヶ月後か数年後かには確実にやってきます。工学実践の現場はいったいどんなところなのか?そこではどんなことが必要なのか?いま学校で勉強していることがそこでどう役立つのか?など、自分たちの将来の姿を想像しながら、貪欲に工学とそれに纏わるいろいろなことを勉強してってください。勉強しようとさえ思えば、北見工大には学ぶべき題材は溢れています。



〈鞆師先生の一週間〉

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
1/29 (日)				「流水を見に行こう(寒さシリーズの一環)。」観光ドライブ																
30 (月)			知財本部業務						寒冷地自動車共同研究の調査・企画											
1/31 (火)		地域共同研究センター業務						地域の方々の連携会議			低ヤング率金属材料研究準備									
2/1 (水)			講義準備					知財本部業務			講義準備									
2 (木)			講義準備						水素透過合金研究の文献調査			地域の方との懇談会×2								
3 (金)		地域共同研究センター業務				寒冷地自動車共同研究				講演会		北見厳寒の焼肉祭り								
4 (土)			南極圧雪滑走路研究の試作実験立ち会い																	

北見工大に来たのが昨年8月と言う中途半端な時期だったため、授業も研究も本格スタートまで至っていません。学園便りが発行される頃にはガラリと違った学校生活になっていると思います。



機械システム工学科 助教授

三 戸 陽 一

*Youichi Mito*

◆先生の略歴を教えてください。

**山** 口県宇部市生まれ。昨年10月に米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校化学工学科より北見工業大学機械システム工学科に赴任しました。

◆先生のご担当されている科目を教えてください。

**平** 成18年度は、学部では土木の図学、大学院では機械の流体工学系の科目を担当します。

◆先生の研究分野の魅力について大いにアピールしてください。

**単** 相および（気体、液体、固体を含む）混相の熱流体乱流-パイプライン輸送、原子力発電、宇宙開発などの工学応用上の基礎的現象-の数値シミュレーションと理論解析をしています。計算には、直接数値シミュレーションというモデルを用いない非常に高負荷な手法や stokastic (確率) シミュレーションなどの種々のモデルを用いた手法を使います。流体力学、熱力学、数学、コンピューター・シミュレーションに関する深い知識を身に付けることができます。

◆北見工業大学や工大生の印象を教えてください。

**北** 見は勉強や研究をするには最高の環境だと思います。北見工大の建物の外は美しいですが、内部は暗くてタバコ臭いです。工大生に関しては、みなさん非常に大きな可能性を持っていると感じています。何をするにしても、優秀な指導者と本人の学ぼうとする気持ちさえあれば大きく成長すると思います。

◆先生のこれまでの人生におけるターニングポイントや生き方に影響を与えた出来事等がありましたら、教えてください。

**い** ろいろとターンはしていますが、それほど大きなターンをした記憶はありません。この問いに答えるには自分はまだ若すぎる(?) ような気がします。

◆先生のご趣味を教えてください。

**い** ろいろなところにいた関係上、その場所に合った趣味を選ぶようにしています。北見ではポスフルでのショッピング以外、まだ、これといったものは見つけていません。

◆学生へのメッセージがありましたら、一言お願いします。

**形** は様々で人それぞれですが、仕事をする上でも生活をする上でもみなさんは一生なにかを勉強し続けていかなければなりません。大学の勉強を第一とする必要は全くありませんが、時間を惜しんで何かを学ぶことを心掛け、つかむべきときにチャンスをつかめるよう自分のレベルアップを心掛けてください。

〈三戸先生の一週間〉

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24 (時間)
日							エレブ												
月																			
火																			
水		シャワー&朝食			学		生		学			デ					学		シャ
木					校		協		校			イ					校		ワー
金																			
土							エレ												

—お二方ともお忙しい最中、質問に快くお答えいただきありがとうございました。—



# キャンパス探訪

## 2

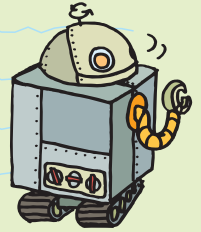
# もの創り工房



大学の中の日の当たらない地味な穴場を紹介するこの企画。今回は「もの創り工房」です。

まず、どこにあるのか。

何のためにあるのか分からない人のために技術員の小畑さんにいろいろお話を伺いました。



－ 「もの創り工房」についてよく知らない学生が多いようです。「もの創り工房」の施設概要（設備、利用時間帯等）について簡単に教えてください。

「もの創り工房」の設備は85㎡の面積を有し、工作機械では2月に卓上旋盤、卓上フライス盤、コンターマシンが新規に設置され、ボール盤、卓上バンドソーがあります。またジグソウ、電動ドリル等の電動工具およびドライバー、レンチ、ペンチ等の一般的な工具があり、簡単な工作等を行える場所と工具を提供する施設となっています。

工房に技術員が常駐していないために、工作を伴う授業での使用、NHKロボコン等のイベントへの参加での使用、技術員の使用とさせて頂いており、学生個人での使用は認めていません。これは授業、イベントへの参加での使用は安全指導、工具管理、施設管理等を担当教員または顧問教員にお願いし、

工房をお貸しする立場をとっております。また技術員に対しては個人の責任とし業務での使用を認めていません。

－ 現在の利用状況（利用者、利用学科・研究室）について教えてください。

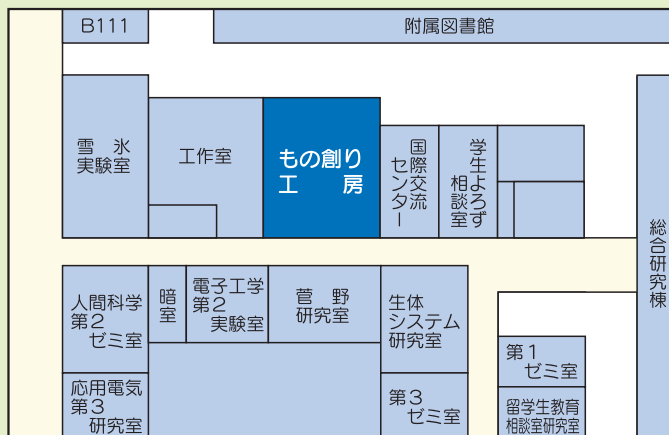
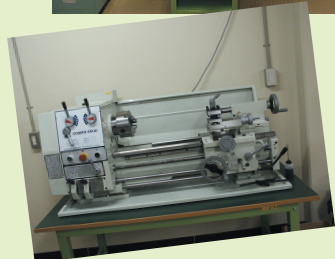
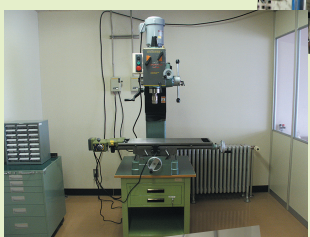
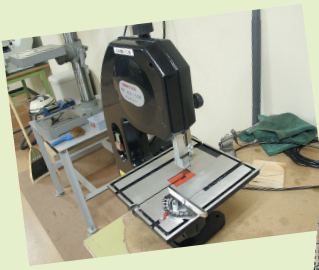
平成17年度では利用状況は授業では機械システム工学科の創造基礎（工具等の使い方はティーチングアシスタントが指導）。イベント関係ではNHKロボコンの参加準備、オホーツク地域エネルギー環境教育研究会でのソーラーカートでした。

－ 利用するにはどのような手続きを行えばよろしいですか？

使用申し込み書がありますのでイベント等の参加は顧問教員を通して技術部第3係小畑まで申し込んでください。

－ どうやら一般学生が個人で気軽に利用できる施設ではないことがわかってきました。ここでちょっと残念なお知らせ。「もの創り工房」

ある1号館という建物が春から改修工事に入るため、この「学園便り」を皆さんが読む頃は「もの創り工房」は一時休業状態に入ること。来春の復活を乞うご期待。



### 10月 *October*

#### セーフティラリー2005 結果報告 (学生支援課)

**セ**ーフティラリーは、毎年、北海道警察等の主催で、交通安全の励行及び交通事故の減少を目指し、実施されています。前号でお知らせしたとおり、今年は6月1日(水)から10月31日(月)までの5ヶ月間にわたり実施され、本学からは17チーム73名(うち学生は15チーム63名)が参加しました。

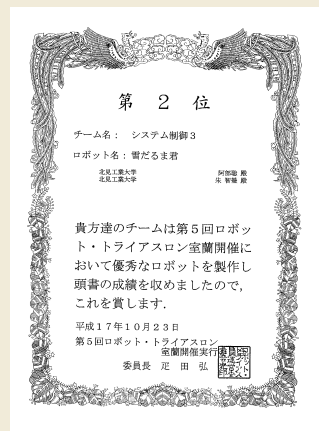
**そ**のうち、13チーム59名(うち学生は11チーム49名)が見事、無事故・無違反を達成(完走)し、その荣誉を表して学生後援会から副賞が授与されました。完走チームは次のとおりです。

BLMAX	走行距離0m.
たんも2	TEAMB1+2@北苑寮
ワタルボンバイエ	GREENMAN
維持管理工学研究室	北苑寮4年生
雪だるま	チーム石川
チームハイドレート	

#### ロボット・トライアスロンで快走 (学生支援課)

**第**5回ロボット・トライアスロンが10月2日に北海道工業大学で、10月23日に室蘭工業大学を会場に行われ、本学から情報システム工学科のシステム制御研究室の4年次学生(阿部聡さん、加藤大輔さん、朱智瑩さん)が中心となり、3チーム3台のロボットが参加しました。

**北**海道工業大学で行われたレースでは2台のロボット(朱さん、加藤さん)が参加し、それぞれ31台中4位、5位に入賞し、室蘭工業大学で行われたレースでは3台のロボット(阿部さん、加藤さん、朱さん)が参加し、それぞれ35台中2位、4位、6位に入賞する快走を見せました。



### 11月 *November*

#### 平成17年度交通安全講習会を実施 (学生支援課)

**標**記講習会が、学生及び教職員を対象として10月31日(月)午後4時20分からC122講義室で実施され、約300名が受講しました。

**講**習会では、高橋副学長からの挨拶のあと、北見警察署佐藤交通課長から今年の北見警察署管内の交通事故発生状況等に関する説明及び交通安全啓発について講演があり、続いて、野付牛自動車学校の三好指導員による安全運転に関する指導がありました。その中で交通事故の当事者の苦しみを主題とした歌手、さだまさしさんの曲「償い」の鑑賞時間が設けられ、交通事故に関わることの重大さについて日頃から一人一人が自覚して欲しいとの熱心な訴えがありました。

**本**年度から交通安全講習会が1年次開講科目「総合工学1」のカリキュラムの一つにもなっていることから、自動車通学者の他に1年次学生の参加が多数あり、受講者は交通安全に対する認識を新たにしました。



◀講演に熱心に耳を傾ける受講者



▲講演をする北見警察署佐藤交通課長

# 2006年3月までを

## TOPICで振り返ってみましょう。

# 12月 December

### リーダーシップトレーニングセミナー実施 (学生支援課)

**去**る12月10・11日、1泊2日の日程で「リーダーシップトレーニングセミナー」を開催しました。このセミナーは、サークルの次期リーダー等を集め、リーダーの育成及びサークル相互の親睦と理解を深めることを目的に、北見工業大学屈斜路研修所において毎年この時期に開催しているもので、今回で16回目となります。

**今**年は、体育系27人、文化系5人、サークル連合役員5人の計37人のほか、大学側から高橋副学長をはじめサークル顧問教員等関係教職員6人が出席し、リーダーとしての心構え、サークルで抱える問題点等活発な討議が行われました。

**当**日は外部講師による「体力の内容とトレーニングの原則と方法」と題した講演のほかに、地元自動車学校による「冬道の交通安全」についての講話や火災避難訓練なども併せて実施されました。

また、最終日には修了証書を授与し、リーダーとしての一層の自覚を促しました。



# 3月 March

### 学生表彰式を実施 (学生支援課)

**去**る3月16日に「奨学・奨励金」及び「ミント賞」を授与する学生表彰式を実施しました。「奨学・奨励金」は、北見工業大学奨学基金により学業成績・人物ともに優れた学生を表彰すること、「ミント賞」は、北見に由来するハッカのようなさわやかなユニークさを持った活躍や活動等(学会賞受賞・課外活動における活躍・他の学生の模範となる社会活動等)を表彰することを目的として設けられています。

**今**年度は、「奨学・奨励金」は6名、「ミント賞」は19名・1チームがそれぞれ受賞し、常本秀幸学長から受賞者一人一人に賞状と副賞が授与され、その栄誉が称えられるとともに、今後のより一層の活躍を期待して、祝辞が贈られました。



# 案内

## アメリカでの語学研修に参加しませんか

(国際交流センター)

夏季休業中に4週間、アメリカ西海岸の大学で語学研修を受けませんか。アメリカの家庭にホームステイして生の英語に触れながら、大学の英語の授業を受けるプログラムです。地元の見どころの見学や企業見学も予定されています。この機会を利用してぜひ、異文化を体験し、英語の実力アップのきっかけをつかみましょう！もっと詳しく知りたい方は、国際交流センターに来てください。

日 程	8月27日(日)～9月25日(月) (旅行日を含む)
研 修 先	アメリカ合衆国ワシントン州 バンクーバー市 クラークカレッジ
費 用	47万円 (学費、滞在費、旅費、保険など) 本学から助成金が支給される予定
単 位	学部生は「異文化理解」、 大学院生は「国際理解」の2単位
募集人数	9～15人
連 絡 先	国際交流センター (0157-26-9372)

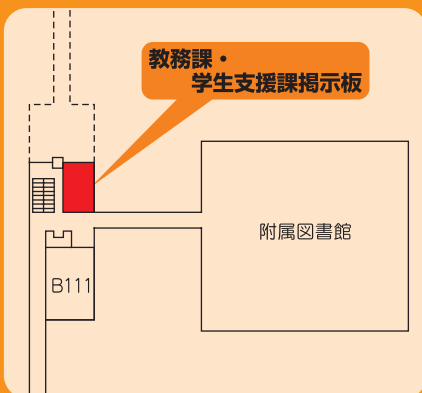


## 毎日1回は掲示板を見よう!

学生諸君への連絡事項は、掲示板コーナーにおいて行われます。  
毎日1回は掲示板を見よう。

掲示される情報は、大学の行事、授業関係、試験時間割、レポート、教室の変更、休講・補講通知、奨学金、授業料免除の申請、アルバイト等をはじめ、サークル関係、急用の呼び出し、その他学生生活に関するものが含まれています。

**掲示を見ないことによる不利益はすべて本人の責任です。  
登・下校・授業の合間に重要な情報を見逃しなく!**



### 編集後記

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。6月には大学祭があります。北見工業大学は学生の元気に期待しています。ぜひ、大学祭実行委員となり、皆さんのフレッシュな気持ちと有り余るエネルギーをこの、大イベントにぶつけて華々しい大学デビューを飾っていただきたいという願いを込めて大学祭特集を組んでいます。ぜひ、一読を!

平成18年4月発行

「学園便り」編集委員

機械システム工学科助教授

柴野 純一

共通講座助教授

芳賀 和敏

国際交流センター教授

山岸 喬

担 当

学生支援課学生支援係

下記URLにて「学園便り」のバックナンバー (VOL.89～) がご覧になれます。  
[http://www.kitami-it.ac.jp/students\\_info/life/dayori.html](http://www.kitami-it.ac.jp/students_info/life/dayori.html)

●●●●● 学生支援課は『あなた!』を支援します。 ●●●●●